

平成 21 年 3 月 6 日

各 位

会 社 名 丸一鋼管株式会社
代表者名 取締役社長 鈴木 博之
(コード番号 5463 東証・大証 第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員総務部長 鈴木 省三
(TEL. 06-6531-0101)

中期経営計画について

本日開催の取締役会にて、当社グループの第1次中期経営計画の成果を総括し、第2次中期経営計画の策定を行いましたので、その概略をお知らせいたします。

当社は2006年4月より第1次中期経営計画を実施し、主要施策を確実に実行し成果を上げてまいりましたが、本年4月よりこの成果をもとに新たな中期経営計画を実施し、直面する世界経済危機による厳しい経営環境を早期に克服し、新たな成長をめざした諸施策を確実に実行して、日本、アジア、米国でのリーディング鋼管メーカーを目指す所存です。

1. 連結経営目標：第1次中期経営計画の見込みと第2次中期経営計画の目標

(億円)

第1次中期経営計画 実績・見込	2007/3 実績	2008/3 実績	2009/3 目標	2009/3 見込(※)	第2次中期経営計画 目標	2012/3 目標
売上高	1,235	1,188	1,500	1,544	売上高	1,600
減価償却前経常利益	283	249	281	226	営業利益	220
経常利益	257	220	240	180	経常利益	260
総資産	2,835	2,650	2,770	2,643	純利益	150
1株当たり純利益EPS(円)	152.8	125.1	137.0	41.8	1株当たり純利益EPS(円)	170
1株当たり株主資本BPS(円)	2,372.6	2,348.5	2,327.0	2,158.7	株主資本利益率ROE(%)	8.00%
(参考)株主資本利益率ROE(%)	6.91%	5.27%	6.29%	1.84%		

(※)2009年2月9日第3四半期決算発表時の今期見込み数字

2009/3 見込：売上高は目標を達成するも、在庫減損処理及び有価証券評価損(各々約100億円予定)により、利益目標は未達。

2012/3 目標：昨年後半からの世界同時不況により、2009年度から2010年度にかけては厳しい環境が予想されるが、早期にこの困難を克服し、将来の成長に向けた施策を積極的に実行し、2011年度には売上、利益とも第1次中期経営計画期の実績を超える水準を目指す。

2. 第1次中期経営計画の成果

この間の主要な成果としては、新たな飛躍のための戦略的投資として、国内ではプレスコラムのトップメーカーである株式会社セイケイ、角鋼管と異形管の専門メーカーである東洋特殊鋼業株式会社への出資、海外ではサン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（以下 SUNSCO、ベトナム）、レビット・チューブ・カンパニーLLC（以下 Leavitt、米国）の M&A の実施、中国での丸一金属制品（佛山）有限公司（以下 MMP）の設立と、着実に実行してまいりました。

また、株主還元を重視し、每期自己株の市場買付の実行と、特別損益を加味せずに算出した単体純利益の40%の配当を実施して、高い株主還元を実現してまいりました。

その他各施策の成果は以下の通りです。

施策	成果
1) 既存事業の強化 ①販売力の強化 ②生産・品質面の強化 ③安全・環境への取組 ④人事制度・組織等の改革 ⑤業務プロセス改革と経営効率化のための IT 投資	AL-Z55N への転換促進 堺工場リフレッシュ工事など 安全教育部長の任命、省エネ型溶接機への置換え 年金制度の変更(適格年金⇒企業年金へ) 次期コンピュータシステムの構築(投資総額:14 億円)
2) 海外展開 ①アジアでの新たな生産拠点の確立 ②北中米への進出 ③海外アライアンス先との連携強化 ④原料安定調達のための投資	SUNSCO への出資(総額:US\$70M)、16 インチミルの着工 MMP の設立:2005/4 設立、ISTW (※)の出資比率引上げ(20%へ) Leavitt の買収(US\$90M) 豪州/ATM (※) との建築構造用軽量形鋼 LSB 販売協力 中国鋼鉄 (CSC、台湾) への継続的な追加投資
3) 新規事業の展開 ①既存事業における新商品の開発と 周辺事業への新たな展開 ②マルチビジネスファンドの活用を含む 新規事業分野への投資	建築構造用軽量形鋼 LSB の大臣認定取得、マーケット開拓開始 セイケイへの出資(15.4 億円) 東洋特殊鋼業への出資(1.9 億円)
4) 社会と共生するゴーイングコンサーン(永続企業)として ①コンプライアンス、コーポレートガバナンス、 企業の社会的責任への取組の一層の強化 ②遵法精神の徹底への努力 ③内部統制システムの構築をはじめ、 ガバナンス体制の整備・強化 ④透明度の高い経営の実現への取組 ⑤従業員の雇用確保と地域社会への貢献	コンプライアンス委員会・リスク管理委員会等の設置 メセナ事業への協賛 コンプライアンス研修会の定期的開催 内部監査室の設置、内部統制システムの構築 業績連動型配当・賞与の実施、 自己株の市場買付(5.5 百万株)、自己株消却(4.3 百万株)の実施 再雇用制度の実施

※ ISTW:インドネシア・スチール・チューブ・ワークス

ATM:オーストラリアン・チューブ・ミルズ

3. 第2次中期経営計画の主要施策

引き続き、直面する困難な経営環境を克服し、新たな成長のための戦略的投資を積極的に実施すると同時に、企業価値の更なる向上をめざして、下記の施策を展開してまいります。

1) 国内事業の更なる効率化推進

- ①国内工場の効率化
- ②セイケイ・東洋特殊鋼業との協働

2) 海外事業の充実と拡大

- ①ベトナム/SUNSCOの経営安定と成長戦略 ⇔ 16インチの新設、ハイ進出
- ②中国/MMPの経営安定と成長戦略
- ③北米戦略の展開 ⇔ Leavitt、マルチ・アメリカン・コーポレーション(MAC)の拡充発展
- ④原材料安定調達のための投資
- ⑤海外現地法人の管理強化と内部統制体制の確立

3) 新規事業分野への積極的展開

- ①国内での新アイテムへの進出検討 ⇔ 新商品分野への進出や提携の検討
- ②海外での新市場・地域への進出検討 ⇔ アジア・北米での新規事業の検討

4) IT化による経営効率の向上と人材育成の強化

- ①IT化による経営効率化
- ②次代を担う人材、海外人材の育成 ⇔ 海外で活躍できる人材の育成

5) 環境への積極的対応

- ①省エネ、CO2削減への全社を挙げた対応

6) 資本の効率化の推進

- ①株主重視の資本政策の展開 ⇔ 高い株主還元率の維持
- ②保有金融資産の見直し (自己株の市場買付の継続、配当政策の維持)

7) 社会と共生するゴーイング・コンサーン(永続企業)として

- ①コンプライアンス、コーポレートガバナンス、CSRの取組強化
- ②内部統制システムの有効運用
- ③透明度の高い経営の実現

以 上